令和５年３月

保護者の皆様

白石市立大鷹沢小学校

校長　　　我妻　聡美

英語アンケート結果のお知らせ

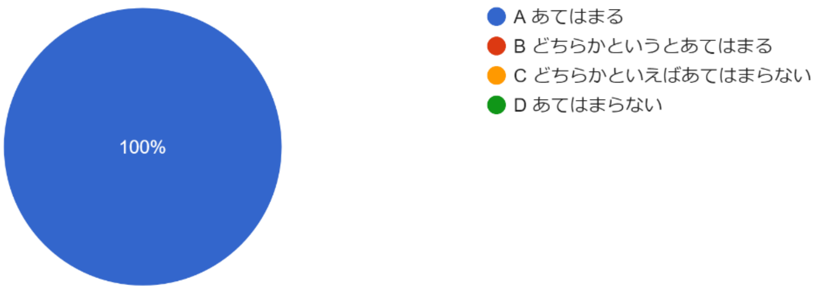
本市では、令和３年度より文部科学省から教育課程（英語）特例校の指定を受け、英語教育に積極的に取り組んできました。

今年度の英語教育に対して、どのような変容が見られたのかアンケート調査を行いました。その集計が終わりましたので下記のとおりお知らせいたします。

１・２年生

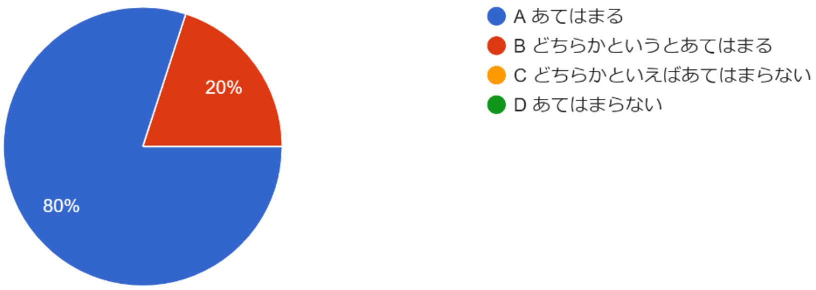
（1）えいごのべんきょうをたのしみにしていますか。

10 件の回答



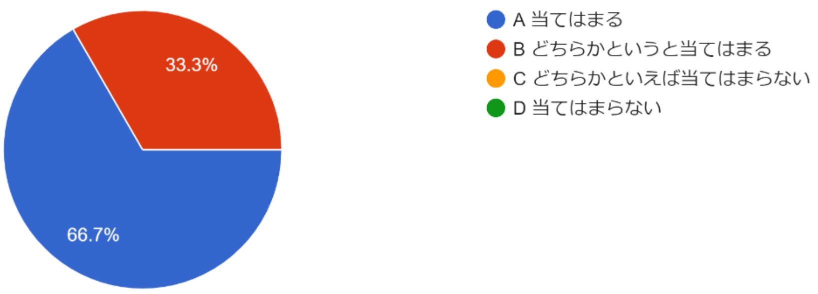
（2）えいごのべんきょうでは、すすんで　えいごで　はなそうとしていますか。

10 件の回答

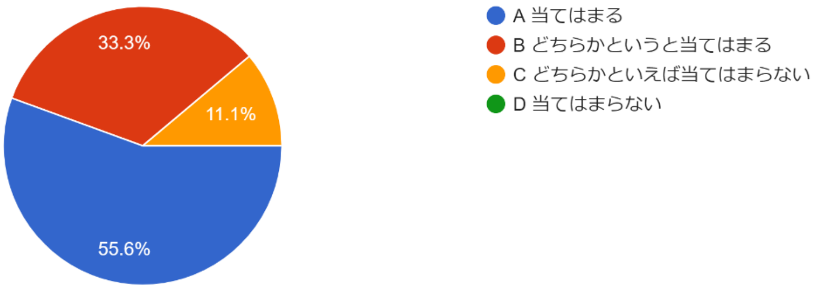


３・４年生

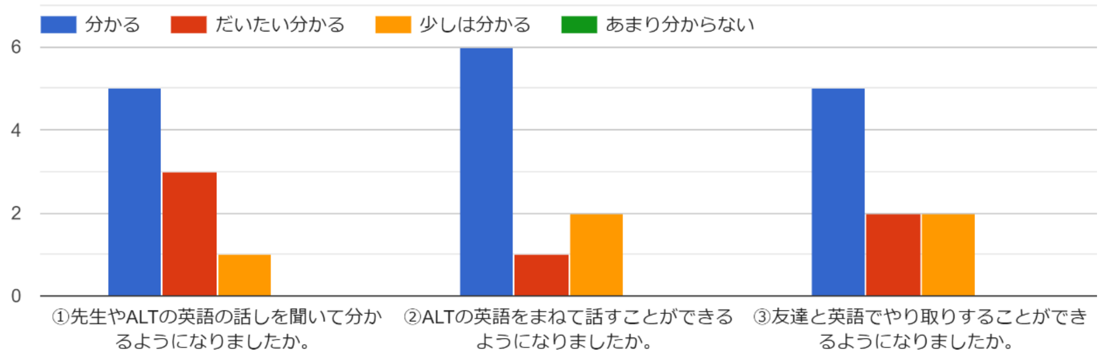
（１）英語の勉強を楽しみにしていますか。
9 件の回答



（２）英語の授業では、進んで英語で話そうとしていますか。
9 件の回答

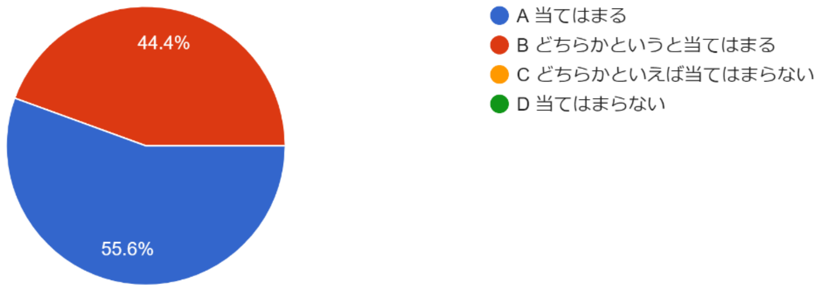


（３）英語の内容について質問です。前の学年の時と比べて答えてください。



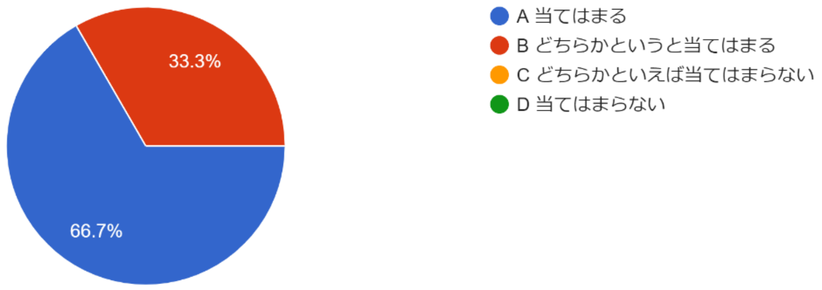
（４）英語の授業で学習したことを通して、外国の文化や生活の様子を知ることができましたか。

9 件の回答



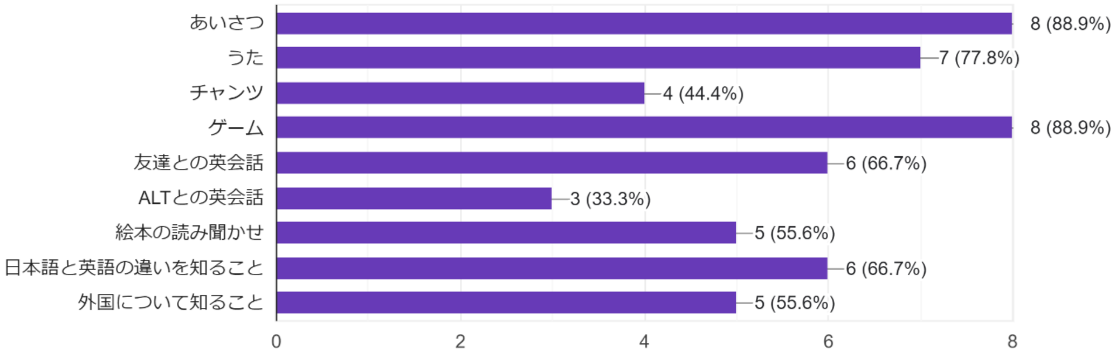
（５）英語の授業で学習したことは将来役に立つと思いますか。

9 件の回答



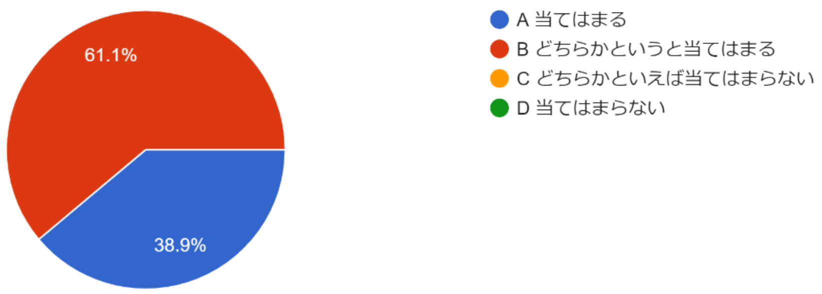
（６）英語でやる気になるのはどの活動ですか。（複数選択可）

9 件の回答

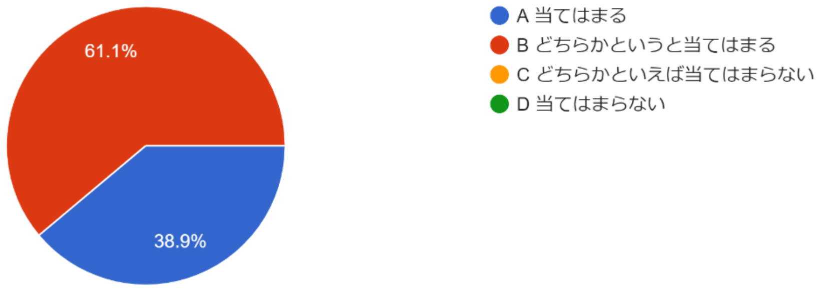


５・６年生

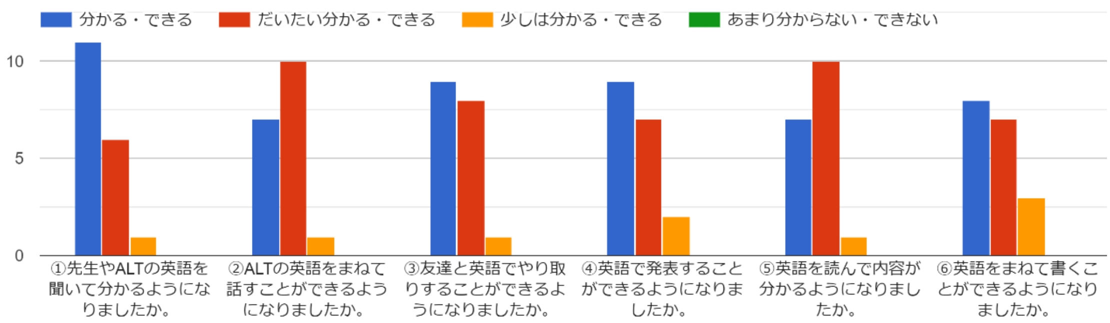
（１）英語の勉強を楽しみにしていますか。
18 件の回答



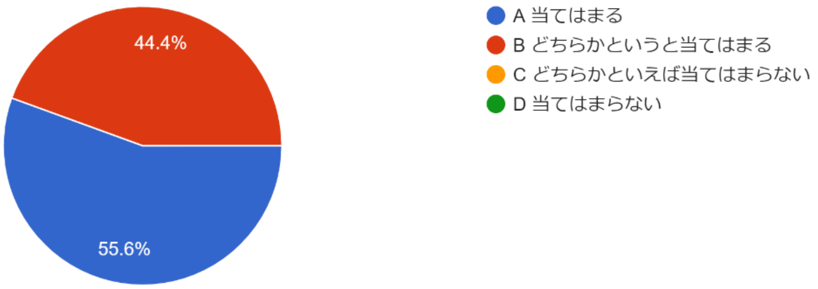
（２）英語の授業では、進んで英語で話そうとしていますか。
18 件の回答



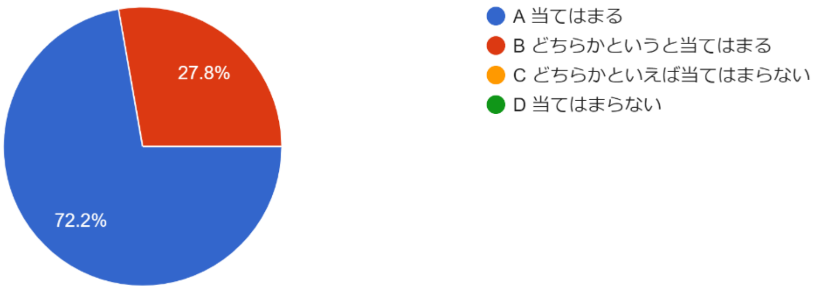
（３）英語の内容について質問します。前の学年の時とくらべて答えてください。



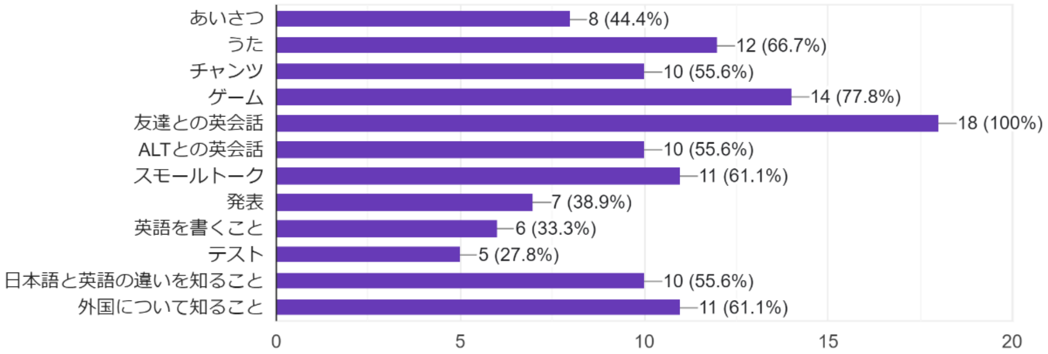
（４）英語の授業で学習したことを通して、外国の文化や生活の様子を知ることができましたか。
18 件の回答



（５）英語の授業で学習したことは将来役に立つと思いますか。
18 件の回答



（６）英語でやる気になるのはどの活動ですか。（複数選択可）
18 件の回答



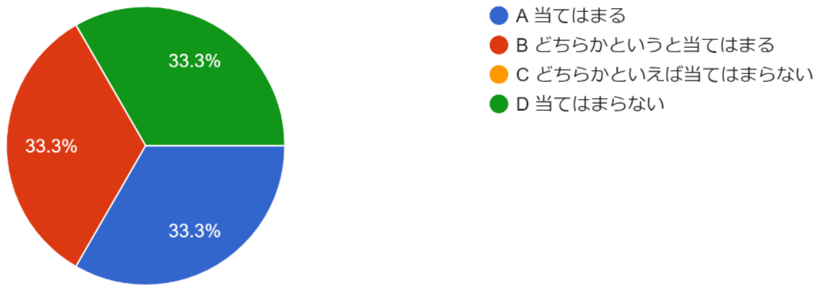
保護者

お子さんの学年をおしえてください。

9 件の回答

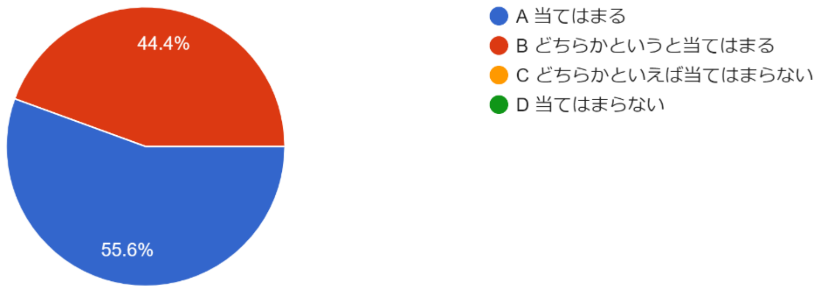
（1）お子さんは、英語の授業を楽しみにしていますか。

9 件の回答



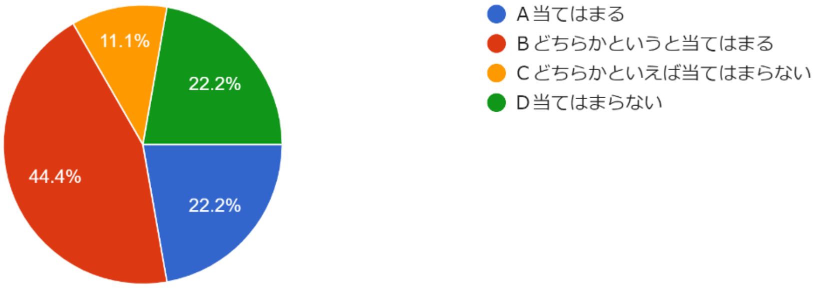
（2）小学校１年生から英語の授業を実施するこ...関心を高めることに役立っていると思いますか。

9 件の回答



（３）お子さんに英語検定を受けさせたいと思いますか。

9 件の回答



（４）英語の学習を通じて、お子さんにどんな力が付けばよいと思いますか。

（記述式）９ 件の回答

・ある程度の会話は出来るようになって欲しい。

・挨拶が交わせる程度の力はついてほしいです。

・簡単な会話が出来る程度になってほしい。

・今は、楽しく学んで、興味関心を持ってくれればいいと思っています。

リスニングと英単語、英単語を組み合わせて文章にする力

好奇心

・一般で使われる英語が分かればいい。

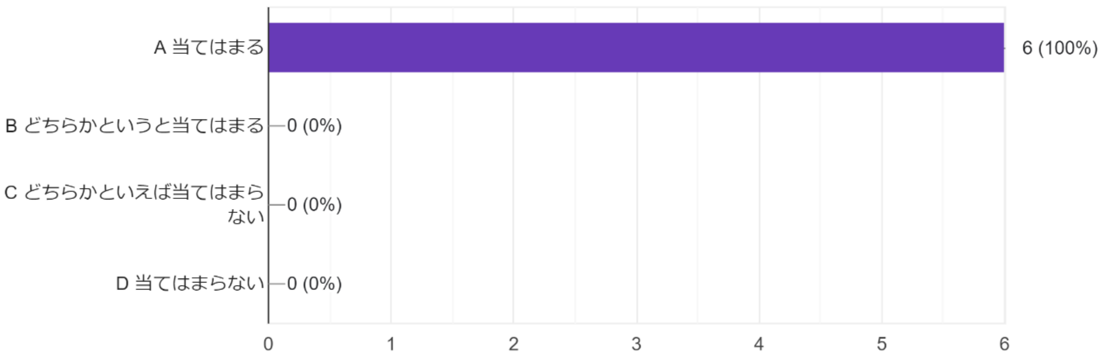
・頭で考えるよりも耳から聞いて英語を楽しんで取得してほしい。

・高校受験に役立つ文法など、なんとなく身につけてほしい。

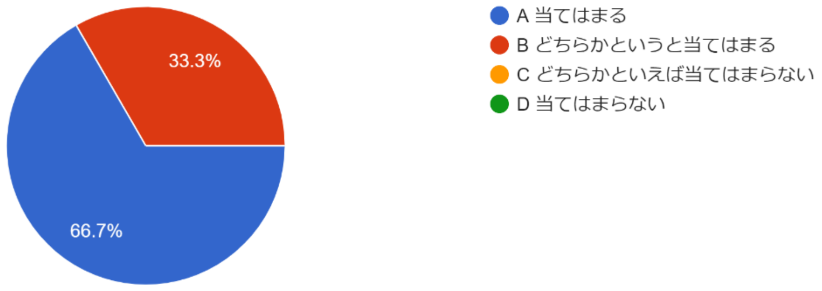
教員

（１）児童・生徒は、英語の授業を楽しみにしていると思いますか。

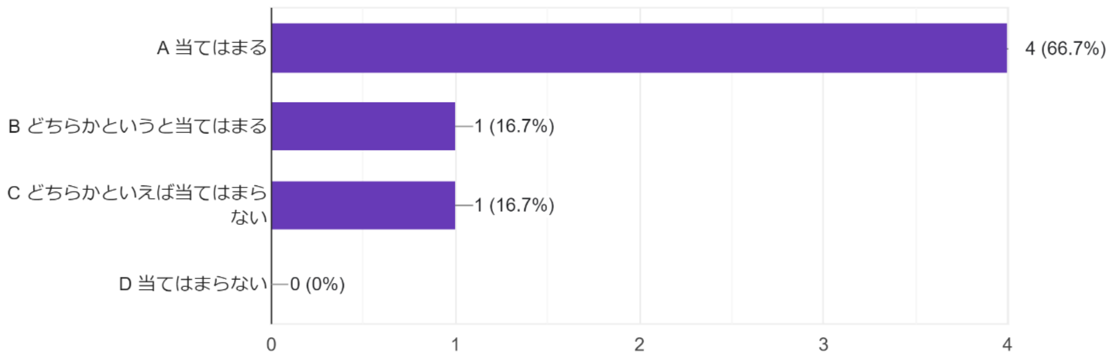
6 件の回答



（2）英語を実施してきたことで、児童・生徒に変化はありますか。
6 件の回答



（3）児童・生徒は、英語で話せなくても、積極...見や考えを伝えようとするようになりましたか。
6 件の回答



大鷹沢小学校　外国語活動・外国語科２月アンケート結果　考察

1. アンケート結果

- 設問(1)では、「当てはまる」「どちらかというと当てはまる」と回答した児童の割合は、低学年、中学年、高学年共に100％であり、7月の結果、中学年で「どちらかといえば当てはまらない」が 14.3％から向上している。
- 設問(2)では、低学年は100％(7月71.4％)で向上、中学年は 88.9％(7月 100％)で減少、高学年は100％である。高学年については、「当てはまる」と答えた児童の割合が、10.3％増加した。
- 設問(3)では、②の質問に「分かる」と答えた児童の割合が増加したが、①～③とも「分かる」よりも、「少しは分かる」と答えた児童の割合が少し増加した。高学年については、どの質問についても「分かる」と答えた児童の割合が増加した。特に、③④⑤⑥の「友達と英語でやり取り」「英語で発表」「英語を読むこと書くこと」で「分かる・できる」と答えた児童の割合が増加した。

・　設問(4)(5)では、「当てはまる」と答えた児童の割合が高く、外国語に対する意欲や興味･関心をもっている様子が伺える。
・ 設問(6)では、中学年、高学年共に歌やゲーム、「友達との英会話」の割合が高く、高学年では、「外国について知ること」の割合も比較的高い割合になっている。

2. 今年度の成果

〇 設問(1)(2)の結果から、どの学年も外国語活動や外国語学習への意欲が高いことが分かる。特に、高学年については、(2)の質問に「当てはまる」と答えた児童の割合が、10.3％増加し、話すことへの意欲が高まったと考える。
〇 設問(3)の結果から、ALTの英語を真似して話すこと、友達との話のやり取り、英語で発表することが「分かる･できる」と答えた児童の割合が増加したことは、ALTとの話のやり取りを見せたり、友達と対話する場面、英語で発表する場面を大切にして設定してきたことにより、児童が英語で話すことを楽しみながら自信を付けることに繋がったと考える。また、「読むこと書くこと」については、単元を通して、語句や文章表現の文字も意識させ、読んだり書いたりすることを繰り返しながら慣れ親しませることができた。
〇 設問(4)(5)(6)の中で、特に、教科書の「日本のすてき」や「世界のすてき」など各国の文化を知ることができる内容にも興味を示す児童が多く、児童に質問を投げかけたり、児童の気付きを取り上げ共有していくことで、外国語や文化への興味･関心を引き出すきっかけになっていると感じる。

3. 今年度の課題

● 「聞くこと、話すこと」の観点では、「ALTや友達とのやり取り」、「英語で発表」について、「分かる･できる」と答えた児童の割合は増加したが、「やる気になる活動」としては割合が高くはない。本時の言語材料や既習事項を繰り返しながら、児童に慣れ親しませ、ALTや友達との会話をしながらインプット、アウトプットしていく過程での指導。支援の工夫を考えていく。
●　「読むこと、書くこと」の観点では、自分のことを伝えるようなスモールトークや「わたしのせりふ」の活用をより充実させ、アルファベットの文字や音との繋がり、文字や文の書き方により慣れていけるような丁寧な指導･支援の工夫をしていく。

4. 令和5年度の重点事項

◎ 児童が英語を使って主体的にコミュニケーションを図っていけるように、学年を通して学ぶ語句や表現を授業の中で繰り返し使いながら、語句や表現に慣れ親しませてき、次の学年にも繋いでいく。
◎ 外国語活動から、外国語科へ、小学校から中学校へ螺旋状に学び続けられるように、指導計画や教材などの工夫し、他校との情報共有をしていく。